

活動分野: 障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ   | 活動頻度<br>活動者数                   | 活動目的   | 活動内容   |
|---|--------------------------------|--|--|
| <p>奈良市<br/>視覚障害者協会</p> <p>1948年5月1日</p> <p>活動者の受入れ<br/>する〔視覚障がい当事<br/>者と協力者(賛助会<br/>員)〕</p> | <p>月平均1～<br/>2回</p> <p>10名</p> | <p>本会は会員の相互融和を基とし、<br/>人格・教養を高め、もって視覚障<br/>がい者の文化の向上、生活の安<br/>定、福祉の増進を図ることを目的<br/>とする。</p>   | <p>1. 視覚障がい者の文化活動(講演会、研<br/>修会、音楽鑑賞会、その他趣味教養に関<br/>すること)</p> <p>2. 会員の厚生事業(生活相談、中途失明<br/>者の補導、職業指導、新職業の調査、研<br/>究その他)</p> <p>3. 友好団体との提携協力</p> <p>4. その他必要と思われる運動並びに事業</p>   |
| <p>奈良市<br/>手をつなぐ親の会</p> <p>1963年1月</p> <p>活動者の受入れ<br/>する</p>                                | <p>月平均2～<br/>3回</p> <p>36名</p> | <p>奈良市内の知的障がい者(児)の<br/>保護者と、本会の趣旨に賛同する<br/>人たちが、お互いに手をつなぎ、<br/>障がい者(児)の将来の自立と保<br/>護を目指し、障がい者(児)の医<br/>療、福祉、教育の振興と充実に努<br/>める。</p> | <p>・関係機関・団体の行事への参加、協力と<br/>研修会の開催</p> <p>・障がい児の親への相談支援等</p> <p>・奈良市心身障がい者・障がい児福祉協<br/>会連合会事務局</p> <p>・春咲きコンサート事務局 他</p> <p>・機関紙の発行</p>   |
| <p>奈良市手話サークル<br/>鹿の会</p> <p>1970年10月1日</p> <p>活動者の受入れ<br/>する</p>                            | <p>月平均4回</p> <p>26名</p>        | <p>会員相互の理解と協力によって、<br/>ろう者の言語である手話を学ぶこ<br/>とを通じて、ろう者および手話を学<br/>ぶ聴者の交流親睦を深め、ろう者<br/>及び聴者の生活・福祉・教育およ<br/>び社会への啓蒙を図ること。</p>          | <p>・手話の学習</p> <p>・手話を通してろう者の文化を知り交流を<br/>図る</p> <p>・ろう協等の行事の手伝い、参加</p> <p>・手話に関心を持った人が気軽に訪れられ<br/>る場の提供</p> <p>・手話講習会、運営会議への参加と受付<br/>担当</p> <p>・奈良市、県ろう協開催行事への参加</p> <p>・手話サークル連絡会への参加</p> <p>・奈良市四団体、五団体会議への参加</p> |

活動分野: 障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ   | 活動頻度<br>活動者数             | 活動目的  | 活動内容  |
|---|--------------------------|---|---|
| 奈良県視覚障害者の<br>生活を守る会<br><br>1971年1月30日<br><br>活動者の受入れ<br>する            | 月平均3回<br><br><br><br>10名 | 視覚障がい者の生活・医療・教育・福祉・文化・スポーツ・レクリエーションなどの学習と相談活動を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者の相談を受け社会参加につながる活動を行なう。</li> <li>・文化、スポーツ、レクリエーション活動を行う。</li> <li>・生活を豊かにする研修を行なう。</li> <li>・他団体と積極的に交流を行い当会の活動に活かす。</li> <li>・機関紙を発行し情報を届ける。</li> <li>・生活相談を行なう。</li> </ul> |
| 奈良市手話サークル<br>鹿の子<br><br>1976年7月<br><br>活動者の受入れ<br>する〔奈良市在住又は<br>在勤の方〕 | 月平均4回<br><br><br><br>63名 | 健聴者と聴覚障がい者がお互いに交流し、話し合い、高め合い、理解を深めていくことを目的とする。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例会時の学習交流</li> <li>・講演会、社会見学</li> <li>・手作り教室</li> <li>・クリスマス会</li> <li>・総会 など</li> </ul>   |
| 奈良市手話サークル<br>集いの輪<br><br>1983年3月3日<br><br>活動者の受入れ<br>する               | 月平均4回<br><br><br><br>42名 | 聴覚障がい者と健聴者との交流を深め、手話を学びながら社会福祉の向上と充実を目的として活動している。 | 主に西部公民館で手話を用い、聴覚障がい者に情報提供したり、色々な活動を通して、聴覚障がい者と健聴者との交流をしている。<br>第1週:グループに分かれて手話表現などを学ぶ。<br>第2週:色々な企画を通して、生活に必要な情報の共有化を図る。<br>第3週:テーマに従って、手話表現などを学ぶ。<br>第4週:新聞部、企画部、学習部に分かれて各担当内容について話し合う。                                  |

活動分野: 障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ                                     | 活動頻度<br>活動者数                      | 活動目的   | 活動内容   |
|---|-----------------------------------|--|--|
| むつぼし会<br><br>1983年4月<br><br>活動者の受入れ<br>する[点訳技術のある<br>方又は習得したい方] | 月平均6～<br>7回[1人当<br>たり]<br><br>24名 | 視覚障がい者・児への各種支援に<br>より共生の社会作りができる事を<br>期待して活動する。<br>1.点字による情報提供…図書の特<br>訳と貸出、点字雑誌の発行、市の<br>広報全般(視覚障がい者対象)発<br>行、他。<br>2.外出支援…手引きによる通院や<br>買い物、遠出など。<br>3.啓発…視覚障がい者への理解<br>を深めるために市民への働きかけ<br>等。 | ・点字雑誌(全国へ発送)発行。<br>・市広報(ならしみんだより・その他全般)の<br>点字版発行。<br>・点字図書の作成と貸出など。<br>・手引きでの外出介助。<br>・養護学校登下校送迎バス内での障がい<br>児の見守りとして月～土曜日2人のボラン<br>ティアが1日2回送迎バスに同乗してい<br>る。           |
| (VG)ならやま<br><br>1986年7月<br><br>活動者の受入れ<br>しない                   | 月平均2回<br><br>6名                   | 障がいのある人に対する援助と介<br>助。<br>奈良市総合福祉センターより依頼<br>のあった活動をする。   | ・ふれあい左京吹奏楽コンサート<br>・ふれあいスポーツフェスタ(ポッチャ)<br>・オータムアミーゴフェスタ<br>・障がい者・児作品展、パネル展<br>・ふれあい宣言タイムマラソン大会<br>・障がいを理解するための福祉講座   |
| 奈良市要約筆記<br>サークル OHPならし<br><br>1995年12月20日<br><br>活動者の受入れ<br>する  | 月平均1回<br><br>15名                  | 要約筆記やIT機器を使った文字に<br>よる情報保障の学習を通じて、聴<br>覚障がい者やその団体とともに、”<br>きこえの保障”についての研究、運<br>動活動をすすめ、会員相互の親睦<br>を図ること。   | ・聴覚障がい者、中途失聴・難聴の方との<br>交流活動、文字による情報保障につい<br>て学習会を開催。<br>・難聴者に向けて聞こえのサポートを手話<br>以外の方法で行っている。<br>・奈良市総合福祉センターの難聴者向け<br>事業では要約筆記等で参加、協力してい<br>る。<br>(2020年度はコロナ感染防止のため中止) |
| 喫茶シャローム<br><br>1996年6月1日<br><br>活動者の受入れ<br>する                   | 月平均4回<br><br>11名                  | 障がいのある人もない人も職場や<br>施設の帰りに息抜きできる居場所<br>づくり。   | (令和2年度はコロナ禍のため短時間の交<br>流会のみ)<br>・週1回の喫茶の運営<br>・音楽療法士やボランティアによるコンサ<br>ートの開催<br>・料理教室の開催   |

活動分野: 障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ  | 活動頻度<br>活動者数                                  | 活動目的   | 活動内容   |
|--|---|--|--|
| <p>奈良県障害者差別をなくす条例推進委員会</p> <p>2007年4月</p> <p>活動者の受け入れする</p>                | <p>月平均 回<br/>〔2ヶ月に1度役員会議・ビラ配り〕</p> <p>31名</p> | <p>障がいのある人への差別や権利の侵害が無くならないのは、障がいのある人の人権が尊重されていないこと、効率化・経済性を優先する社会構造のなかで障がいのある人が排除されていること、地域社会での支援体制の不足に加え、障がいのある人は普通学校ではなく特別な学校へ、地域でなく施設へ入所させるのが本人の幸せであるという固定観念や、障がいのある人との接点が少なく理解がすすんでいないことなど、社会の人々の意識面にも原因があり、障がいがあっても地域で普通に暮らしたい、同世代の仲間と一緒に学校へ行きたいと多くの障がいのある人が望んでいる。</p> <p>そこで私たちは障がいのある人々への差別や人権侵害をなくし、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会を作るため、奈良県に障がい者差別をなくす条例をつくる活動をしてきた。条例の施行からは、その推進活動をしている。</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「奈良県障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」を奈良県の一般社会に周知する活動</li> <li>2. NDF奈良県障害者フォーラムに加盟及び代表者会議に参加</li> <li>3. 差別事案に応じる</li> <li>4. 相模原市「やまゆり園」事件の奈良県集会を毎年開催</li> <li>5. 主要駅でのビラ配り(2ヶ月に一度)</li> </ol> |
| <p>奈良市<br/>アイサポートの会</p> <p>2007年12月6日</p> <p>活動者の受け入れする〔ボランティア入門講座修了者〕</p> | <p>月平均5回</p> <p>14名</p>                       | <p>本会は、主に奈良市内の視覚障がい者の支援活動を行う。</p>  | <p>目の不自由な方々の同行外出ガイド、音訳、対面朗読、点訳・点字等のサポートを愛を込めて行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド: 同行による移動支援</li> <li>・音訳: 文章の音訳、対面朗読</li> <li>・点訳: 文章を点字にする</li> </ul> <p>依頼があれば、会員で検討し可能な限りご希望に沿うように、お互いを思いやり活動している。</p>           |

活動分野:障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ  | 活動頻度<br>活動者数            | 活動目的   | 活動内容   |
|--|-------------------------|--|--|
| <p>おや♡つ</p> <p>2008年10月1日</p> <p>活動者の受け入れする[発達障がいを抱える家族または理解ある方]</p> | <p>月平均1回</p> <p>28名</p> | <p>発達障がいの方が、社会に溶け込み、日々の生活を楽しんでいることを目的とする。</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会(月1回):会員相互の情報交換</li> <li>・「おや・つ」勉強会:講師に当事者対応を学ぶ。</li> <li>・当事者定例会:「らふぁえろ」にて自主活動</li> <li>・SST 講座(当事者):心のケアセンターにて、ゲームを通してルールやトークを学ぶ。</li> </ul>  |
| <p>まほろば8</p> <p>2011年4月1日</p> <p>活動者の受け入れする[活動に賛同し、会員の推薦要す]</p>      | <p>月平均8回</p> <p>66名</p> | <p>会員相互の親睦、情報交換を行い、地域社会への貢献活動を通じて、仲間と楽しく活動し、会員の生きがい、健康づくりに寄与する事を目的とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉施設、障がい者福祉施設等との協調のもと、車いすを始めとした備品設備などの整備、社会生活支援などの活動</li> <li>・おもちゃ制作などを通して、高齢者福祉施設、保育園、幼稚園、小学校、自治会などへの訪問指導活動</li> <li>・パソコン・スマートホン・タブレット・デジカメなどのIT機器を通しての、会員及び地域住民への教育活動</li> <li>・定期訪問時の車椅子の清掃活動、施設外活動補助など</li> </ul> |

活動分野: 障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ                                    | 活動頻度<br>活動者数                 | 活動目的   | 活動内容   |
|--|------------------------------|--|--|
| <p>地域で一緒に支え合う会(鎖肛当事者の会)</p> <p>2012年2月20日</p> <p>活動者の受入れする</p> | <p>2ヶ月に1回</p> <p>12名</p>     | <p>先天性奇形である鎖肛の方が全国に約2万人いる。そのうち高位型(重度)中間位型(重度に近い)低位型(軽度)があり、低位型は先天的に肛門のところまで腸は来ているが肛門が無く、手術治療とリハビリで完治することが多い。一部では術後の弊害として二次障害も起きうる。中間位型、高位型は殆ど完治した事例が無い。代表の私(高位型)は神経機能、括約筋機能の全てが皆無状態から偶然にも完治している。術後の弊害も起きていない。</p> <p>そこで、鎖肛当事者の皆さん(ほとんど成人の方達)に私の体験を活かし、精神的な悩み等の相談を受けることを目的としている。</p> | <p>1. 「地域で一緒に支え合う会(鎖肛当事者の会)」の相談支援の活動をする。</p> <p>・2~3ヶ月に1回鎖肛当事者の精神的な悩み相談会、情報交換会(全国の会員対象)を開催する。</p> <p>2. 当事者に関わる学習会、講演会、セミナーなどを開催する。</p> <p>3. 当事者同士で知識を得たり相談の結果で必要と認めた事項の活動をする。</p> <p>※</p> <p>・奈良県協働推進センター運営協議会参加団体</p> <p>・奈良ボランティアネット団体会員</p> <p>・奈良市ボランティアインフォメーションセンター登録団体</p> <p>・奈良市ボランティアセンター登録団体</p> |
| <p>サポート21・なら</p> <p>2012年4月1日</p> <p>活動者の受入れしない</p>            | <p>月平均 回 [不定期]</p> <p>7名</p> | <p>奈良県下および近隣の府県で、障がい者および障がい者の支援者に対して、就労と自立のための支援を行うことを目的とする。</p>   | <p>1. 障がい者および障がいのある生徒の就労と自立支援</p> <p>2. 支援学校および保護者に対して、実習先の開拓や企業ニーズの啓発活動</p> <p>3. 企業・事業主に対して、障がい者雇用のノウハウや雇用促進の啓発活動</p> <p>4. あいサポート運動の啓発・講演活動</p> <p>5. 障がい者パソコン教室での指導など、障がい者の支援に関わる事業全般</p>  |

活動分野:障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ  | 活動頻度<br>活動者数                                       | 活動目的   | 活動内容  |
|--|--|--|---|
| <p>発達障害者自助会<br/>パルコ・ Mint</p> <p>2014年4月14日</p> <p>活動者の受入れ<br/>する[PC操作可能な<br/>穏やかな方]</p> | <p>月平均1回<br/>〔都合によ<br/>り2ヵ月に<br/>1回〕</p> <p>5名</p> | <p>20歳以上の発達障がい当事者(診<br/>断・未診断問わない)同士が安心し<br/>て語れる居場所及び学びの場を<br/>提供すること。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題、発達障がい者自身の子育<br/>て、家事等学んだり話し合ったりする。</li> <li>・当事者の子育てに焦点を当てる</li> <li>・サロンの開催(ルールに基づき行う・Hネ<br/>ーム・初対面連絡禁止)</li> <li>・セミナー、講演会の開催 他</li> </ul>  |
| <p>あかるいみらい準備室</p> <p>2017年2月16日</p> <p>活動者の受入れ<br/>する[当団体活動に共<br/>感して下さる方]</p>           | <p>月平均3～<br/>4回</p> <p>5名</p>                      | <p>奈良県下および近隣の府県で、障<br/>がい者及び引きこもり等の当事者<br/>がいる親(家族)からの「親亡きあと<br/>」や自身の「老い支度」等に関する<br/>様々な不安や相談に対しアドバイ<br/>スを行う。本会が「人と人(当事<br/>者・家族と様々な関係機関や専門<br/>家)」とを繋ぎ、「現在(いま)と未来<br/>」をつなぐ橋渡し役となることで、当<br/>事者と家族が社会から孤立するこ<br/>とを防止し、皆が笑顔になれるあ<br/>かるいみらいを実現することを目<br/>的とする。</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1)障がい者や引きこもり当事者の子がいる<br/>親(家族)からの「親亡きあと」「老い支度」<br/>に関する相談対応、月に2回(奈良市と大<br/>和高田市で各1回)出張相談を行うほか、<br/>事務所にて随時相談を受け付ける(原則予<br/>約制)</li> <li>2)障がい者や引きこもり当事者の子がいる<br/>親(家族)のための「親亡きあと」「老い支<br/>度」に関する勉強会の開催、目標年5～6<br/>回程度</li> <li>3)一般市民に対する障がい者及び障がい<br/>に関しての理解啓発のための活動、あい<br/>さポーター研修、目標年1～2回</li> </ol> |
| <p>(特非) ぱるぱる</p> <p>2018年1月16日</p> <p>活動者の受入れ<br/>する[ボランティアで携<br/>われる方]</p>              | <p>月平均1回</p> <p>8名</p>                             | <p>障がい者の特性を知り、障がい者<br/>の方々のニーズにお応え出来る様<br/>支援する。楽しい毎日、遣り甲斐<br/>のある毎日を過ごしていただいで<br/>もらいたくベテラン職員とのコミュ<br/>ニケーションにより安心・安全に過<br/>ごしていただくことを目的としてい<br/>る。<br/>誰もが暮らしやすい地域社会(共<br/>生社会)をみなさんと一緒につくっ<br/>ていく。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者の外出サポート(同行援護)</li> <li>・身体障がい者・精神障がい者の移動支<br/>援</li> <li>・盲導犬普及のための募金活動・育成ボラ<br/>ンティア活動</li> <li>研修会・勉強会などで県内・他府県の団体<br/>との交流</li> <li>畑での野菜づくり</li> <li>・シイタケ栽培</li> </ul>   |

活動分野:障がい者福祉

| 団体名(設立順)<br>設立年月<br>活動者受け入れ   | 活動頻度<br>活動者数           | 活動目的   | 活動内容   |
|---|------------------------|--|--|
| <p>HWOL 障害を持つすべての人の会</p> <p>2020年2月8日</p> <p>活動者の受け入れする[詳しくは公式ホームページ参照]</p> | <p>月平均2回</p> <p>7名</p> | <p>私たち「HWOL 障害を持つすべての人の会」は「障害者と健常者が共に暮らせる社会(共存社会)を創る、発明家になる」を目標として活動をしている団体で、私たちは人の生き方の道を考え、お互いを自然に理解できるそんな場所、時間(イベント交流や障害者の当事者会、セミナー等)を作ること考えるための活動を企画・運営し、障害者と健常者の共存社会を創る事を目的として発足した。HWOL(ハウオル)は、Human Way of Life(人の生き方)の略称を指す。</p> | <p>◆企画・運営活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者または健常者が参加できるイベント・当事者会・セミナー等</li> <li>◆外部のボランティア団体または自助会等のヘルプ活動</li> <li>◆情報発信(インターネットを利用し障害を持つ当事者からの啓発活動)</li> <li>◆人間に関する心理及び障害研究</li> </ul> <p>◆HP: <a href="https://www.hw-life.net/">https://www.hw-life.net/</a></p> |